

米づくり情報（NO. 2）

令和7年7月1日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
6	1	20.6	19.6	25.8	24.9	16.3	14.2	24.3	28.0	27.1	41.4
	2	21.3	21.4	26.1	25.6	17.3	18.1	33.7	116.5	24.1	7.1
	3	21.9	23.0	26.5	26.0	18.2	20.4	48.2	118.5	22.1	1.1
	4	22.4	26.3	26.8	31.5	19.0	21.3	67.9	11.5	19.6	29.3
	5	23.1	25.4	27.1	27.6	20.0	23.2	85.9	171.5	16.0	0.2
	6	24.0	26.4	27.7	31.6	21.1	22.1	95.6	0.0	14.1	50.3

【6月の気象概況】

- ・気温は、第4～6半旬で平年より高く、特に第4半旬では平均気温が約4℃高くなった。
- ・日照時間は、6月第2・3・5半旬で、曇天や雨天の日が多く、平年より少なかった。
- ・降水量は、第4・6半旬では晴天が多く少雨傾向だったが、第2・3・5半旬では平年を上回る降水量が観測された。

2 生育状況（6月30日）

項目 品種(設置場所)	移植 日	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (L)	葉色 SPAD	概要
夢しずく 東山代町脇野	6/1	本年値 平年値 平年比(差)	46.5 57.7 81	316 377 84	8.9 9.5 (-0.6)	42.0 43.5 (-1.5)	・草丈は、平年より低い ・茎数は、平年より少ない ・葉齢は平年より少ない ・葉色は平年より淡い

（耕種概要）

品 種	年 次	苗質		移植日	栽植密度 (株/㎡)	備考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本年値	13.6	2.4	6/1	18.2	前作 水稻
	平年値	14.8	2.6	6/1	18.2	

※夢しずくの平年値は、H27～R6の平均値から最上位と最下位の数値を除いた平均値。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上中旬移植）

- ・まもなく幼穂形成期を迎える。幼穂形成始期（幼穂長 1 ミリ）を迎えた圃場では、次の表を参照し穂肥を施用する。

《夢しずく 穂肥診断基準》

幼穂形成始期の の草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量 (kg / 1 0 a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
	3.0以下	34以下	22～20日前	1 mm	3. 0	1 8 kg
7 3cm以下	3. 0～3. 5	3 8以下	20～18日前	2 mm	3. 0	1 8 kg
	3.5～3.8	38～39	15～14日前	10～15mm	1.5～2.0	10 ～12kg
	3.8以上	40以上	晩限は止葉抽出終了まで		1.0以下	6 kg
7 3～7 9cm	3.0～3.5	34以下	20～18日前	2 mm	1.5～2.0	10～12kg
	3.5～3.8	38～39	15～14日前	10～15mm	1. 0	6 kg
	3.8以上	40以上	施 用 し な い			
8 0cm以上	原 則 と し て 施 用 し な い					

【穂肥診断の方法】

- ①幼穂形成始期頃の草丈を測る。
- ②葉色（群落・SPAD 値）を測る。
- ③上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
- ④施用量を確認したら、基準の施用時期に穂肥を施用できるよう準備する。
- ⑤穂肥は、湛水状態で施用し最低 4 日間は止水し、落水しない

2) 普通期水稻「夢しずく」

- ・ 有効茎（1 株当たり 20 本程度）が確保できた圃場から順次中干しに移行する。
- ・ ガス対策として移植後 15 日、25 日頃は夜干しなどを行い、根の活力を高める。
ただし、用水確保が難しい地域では落水せずに湛水状態を保つようにする。
- ・ 中干しは約 1 週間、土壌表面に軽い亀裂が入り、足跡がわずかにつく程度とし、中干し後は間断灌水を行う。なお、中干しを強めにした圃場（手が入るほどの亀裂がある）では、いったん通水し、ならしをしてから間断灌水に移行する。
- ・ 除草剤散布直後大雨によりオーバーフローしたほ場では、ヒエ、コナギやホタルイ等の雑草が発生する恐れがある。発生が多い場所では、中後期除草剤等による防除を実施する。



左 18 本 右 17 本

（間もなく中干へ移行）

左 29 本 右 23

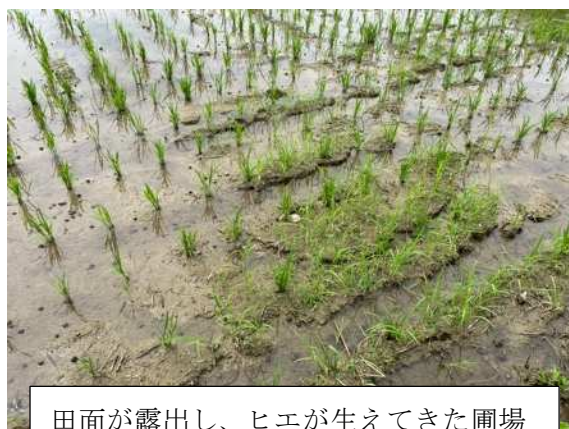
（ただちに中干へ移行）

参考）茎数の目安

3) 普通期水稻「ひなたまる」等

- ・活着期～分けつ期を迎えている。除草剤処理後 1 週間経過した圃場は浅水管理に移行し、茎数確保に努める。

※除草剤は、散布後 3 日経過すれば有効成分が土壤に吸着されるが、除草剤の処理層が破壊されないよう湛水状態（水尻を止水して湛水状態を保ち自然落水によって田面が見えても 1 週間は入水しない。）を保つようにする。ただし、均平が取れず田面が露出した部分がある場合は、1 週間後の雑草発生状態を確認し、早めに中後期剤等での防除を行う。



田面が露出し、ヒエが生えてきた圃場

4) 共通

(スクリミンゴガイ)

・スクミリンゴガイの被害が見られる圃場では、浅水管理にすると共に、必要に応じスクミノン、スクミンバイト 3 などで薬剤防除を実施する。

・



スクリミンゴガイの食害

(いもち病)

BLASTAM情報第2号(葉いもち感染好適条件の出現状況)(2025年6月26日更新)

月	日	佐賀					福岡			長崎	
		唐津	伊万里	佐賀	嬉野	白石	前原	太宰府	久留米	松浦	佐世保
6月	1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3日	1	—	—	4	4	1	●	●	4	—
	4日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	9日	4	●	4	●	●	—	—	●	●	●
	10日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11日	4	—	—	—	—	●	—	—	●	—
	12日	●	●	●	●	●	4	●	●	4	●
	13日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	14日	—	—	3	—	—	3	—	—	—	—
	15日	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—
	16日	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
	17日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23日	—	2	2	—	—	2	2	—	2	—
	24日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26日										
	27日										
	28日										
	29日										
	30日										

- 1：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
2：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
3：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15～25℃の範囲外）
4：準好適条件（湿潤時間が湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い）
●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した）
—：好適条件の出現なし
？：判定不能

農業技術防除センター提供

感染好適条件から 1 週間後に急激に病斑が増加する恐れがあるため、今後は圃場の発生状況に注意し、進展型病斑が確認された圃場では、「オリブライト 250G」等で速やかに防除を行う。

・圃場内に放置されている補植苗では「いもち病」や「ごま葉枯病」の発生が懸念されるため、補植後はすみやかに除去する。



圃場の置き苗で確認されたいもち病



圃場の置き苗で確認されたごま葉枯病

(ウンカ類)

海外飛来性害虫情報第7号(ウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況)(令和7年6月25日更新)

月	日	トビイロウンカ				セジロウンカ				コブノメイガ					
		佐賀県		長崎県		佐賀県		長崎県		佐賀県					長崎県
		佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市
		ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	フェロモン トラップ	粘着トラ ップ(20W蛍 光灯)	フェロモン トラップ	フェロモン トラップ	粘着トラ ップ(20W蛍 光灯)	フェロモン トラップ
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	3日	0	0	0	0	0	0	0	1	0				0	0
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
	7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	9日	0	0	0	0	0	0	1	0	0				0	0
	10日	0	0	0	0	0	2	4	0	0				0	1
	11日	0	0		0	0	0		0	0					0
	12日	0	0		0	0	1		0	0					0
	13日	0	0		0	0	0		0	0				0	0
	14日	0	0		0	1	0		0	0				0	3
	15日	0	0		0	0	0		0	0					0
	16日	0	2			3	9			0		0		1	
	17日	0	0			0	4			0		0			
	18日	0	0			3	4					0			
	19日	0	0			0	2					0			
	20日	0	0			0	0								
	21日	0	0			1	1			1			0	1	
	22日	0	1			0	26					0			
	23日	0	2			2	126								
	24日	0				2									
	25日	0				2									

注1)ウンカ類:佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査(回収日で集計)。嬉野ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

注2)コブノメイガ:神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。

※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室提供。

農業技術防除センター提供

- 今後の飛来状況や圃場条件(移植時期や品種、圃場の場所等)によってウンカ類の発生量は異なるため、注意深く圃場を観察し、発生が多くみられる場合は速やかに防除を行う。

令和7年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：伊万里）

西松浦農業振興センター

